








# 支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
				**		**		


起 票 日	令和 5年 12月 1日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	129,690 円	控除	所得 税 0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	8 回		雇用保険料 0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		その他 0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	279,423 円	請求書番号	控除額合計 0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	320,577 円			
源泉支払内容	*****			

件名 広報広聴費 日本共産党市会議員団ニュースNo.111 (30,000枚) .

摘要

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 12月 14日
	住所			
	名称	日本共産党代表者 松本 真麗		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所			領収印	
	氏名	日本共産党代表者 松本 真麗			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 12月 14日  
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001



負担行為番号  
05-002558








伝票番号  
05-015007

呼出番号

整理番号  
05-000005-08



00553078


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年12月1日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名 日本共産党  
代表者名 松本真麗 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	¥ 129,690 -		
内 訳	この日は日本共産党市会議員団20号 No.111		
支 払 先	この日は印刷		
予 算 科 目	広報広聴費	交付残額	320,577円
使用 者 名	松下 真麗		

# 御 請 求 書

令和5年11月25日

日本共産党泉大津市会議員団 御中

〒595-0024  
 大阪府泉大津市池田町1-16  
 TEL 0725-33-0554  
 FAX 0725-33-3558  
 これえた

下記の通り、ご請求申し上げます。 ご注文を頂きありがとうございました。  
 今後ともご愛顧下さいます様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**御請求金額 ¥129,690**

日付	品名	数量	単価	金額	備考
10/18	日本共産党市会議員団新聞	30,000	3.93	117,900	B4 1色 両面 上質55K
	合計			117,900	
	消費税			11,790	
	総合計			129,690	

日本共産党泉大津市会議員団 御中

領 収 書

¥ 129,690.-

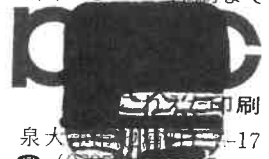
但シ

上記金額確に領収致しました

25年 11月 25日



企画から……印刷まで



泉大津市 33-6554-17  
☎ (0725) 33-6554  
FAX (0725)33-7268



# こんにちはは日本共産党市会議員団です



市会議員 森下 いわお  
板原町3-3-43 TEL090(3051)9790  
i-morishita1967@docomo.ne.jp



No.111 2023年 10月

発行：日本共産党泉大津市会議員団



市会議員 松本 まり  
条南町4-1-301 TEL070(6926)6773  
jcp1990matsumotomari@gmail.com

9月13日から市議会第3回定例会が開かれました。森下いわおは「学校環境の改善」について、松本まりは「市立病院の再編に関わる問題・新型コロナウイルス感染症をめぐる市の対応」について一般質問しました。2022年度の決算審査特別委員会が開かれて、松本まりが委員として出席しました。

## 学校(教室)の断熱化を急ぎ進めよ！

エアコンあるのに…  
なんでこんなに暑いのか？

森下いわお 一般質問

教室や体育館のエアコン設置は私たち議員団が長年求め実現しました。しかし、教室は「暑くてたいへん」と聞き「なんで？」と調べてみると、猛暑日には天井は40度を超え、エアコンをつけても30度を下回らず、学校環境基準で望ましいとする28度にはなりません。しかも、この学校は市が対策済みとしていた学校です。

①天井断熱 ②窓の断熱 ③換気の対策を  
まずは遮光カーテンの設置を全教室に

なぜ室温が下がらないのか？大規模改修時の天井の対策だけでは不十分だからです。教室の遮光カーテンがない、あっても映像を見やすくするだけの半分しかないなど、直射日光を防ぐ手立てもとられていません。

埼玉県で「①から③」の対策を実施した教室は、エアコンをつけるとすぐに室温が下がりはじめ28度になる調査結果を紹介し、泉大津でも何年も先の大規模改修を待たずに、3点での断熱化対策が必要と要望しました。

## 市立病院の再編は… (松本まり 一般質問) 住民の理解を得たと言えないまま

泉大津急性期メディカルセンター(新病院名)は、2024年12月1日が開院予定で、現在の市立病院は、周産期小児医療センターへ名称変更して、同時に開院するとわかりました。市は広報誌とホームページでの説明だけで、これまで何度も説明会を求めて来ましたが、1度も開くこともないままに、住民理解を得たとして進めています。

## 患者の不安解消をもっと丁寧に！

今、市立病院では閉鎖する科目などがあり、これからについて「自分で転院先の病院を探せ」と言われ「どうしたらいいのか？」という患者の声、不安があることを紹介し、転院先についてきちんと紹介するなど、もっと丁寧に対応するよう求めました。

## 市内で唯一の人間ドックが無くなります！

人間ドックは、周産期小児医療センターでの継続は出来ないという答弁がありました。医師の確保の努力をし、必要な診療科目を残して、市内で唯一の人間ドックを続けるよう要望しました。

## 生活法律相談会

どなたでもお気軽におこしください。  
ご相談には弁護士と市会議員があたります。

受付は午後8時まで

11月24日(金) 午後6時～ 勤労青少年ホーム2階(誠風中向がい)





**2022年度 決算委員会****9月議会での主な要望事項**

## 一般会計と国保/介護/後期高齢の特別会計は反対、水道/下水道会計には賛成

昨年度は新型コロナ感染拡大や物価高騰の影響で、市民の暮らしや仕事が大きく脅かされた年度でした。

日本共産党は、コロナ感染がはじまった時に実施した水道料金の引き下げや有料ゴミ袋の無償化、近隣他市の多くが実施している給食費無償化など、今こそ実施すべきだと提案してきました。

しかし、これらは実施されることなく、唯一商品券は実現しましたが、それは国の交付金を活用したまでのことで、市独自の財源をつかった支援策はほぼありませんでした。

## 9億7千万も貯金?! こんな時こそ暮らし応援を

こうした中で、市の貯金にあたる財政調整基金を9億7千万円も積み上げて43億4千万円にもなりました。また市立病院会計に18億円という多額の繰り入れを行ない、市民合意のないまま新病院建設・再編を進めるなどの問題から反対しました。

国保・介護・後期高齢者医療制度は、特に大阪府の統一保険料に向かう国保会計で、暮らしを脅かすあまりにも高い保険料であることから反対しました。



## 市立病院事業会計に反対

新病院建設・再編計画では、この年度に指定管理者(生長会・府中病院)が決められました。現病院では看護師の退職者が多く出ているにも関わらず、不補充として、入院患者の受け入れが十分に出来ていません。

また、18億円という一般会計からの多額の繰り入れ、新病院建設費は当初の建設費100億円、医療機器20億円がすでに154億円となり、さらに上振れが予想され、現病院の改修費用も30億円になるなど、これらがまともに市民に説明もされていないことから反対しました。

## 全会計決算(案)に他の議員はすべて賛成し認定されました

市議会では一般質問や委員会の質疑をネット中継、録画で見れます。泉大津市議会ホームページから、ネット中継/録画へ進んでください。

## ☆子ども医療費の負担ゼロへ

長年要望を続け、18歳までの引き上げが実現しましたが、全国的には負担ゼロの無償化が進んでいます。大阪では高槻市が来年からの予定です。泉大津でも実施しようと要望しました。

## ☆妊産婦への医療費助成を提案

「妊娠中の医療費がたいへん」という切実な声を聞きました。

子どもは生まれると医療費助成の対象になりますが、生まれるまでの間はお母さんに医療費がかかってしまいます。その為、妊産婦医療費助成を実施する自治体は全国で約200(6月現在)あります。

「安心して産み育てるまち泉大津」というなら実施すべきと提案しました。

## ☆給食費の無償化の早期実現を要望

コロナ禍や物価高騰が続く中で、給食無償化が482自治体(8月現在)となり急速に広がっています。近隣では期限付きですが、高石市、岸和田市。泉佐野市は3年続けています。給食の質の向上と併せて実施すべきです。

## ☆市独自の加配で教員を増やそう

不登校が過去最多と言われています。桒東小学校では、この4月から専任の担当教員を市独自で加配し、通学出来るようになった子が増えました。

また、学校現場は教員の欠員などもあり、教職員の業務が多忙を極め、個々の児童生徒への丁寧な対応が、いっそう大変になっています。泉佐野市は6年生まで少人数学級をするために市独自の加配をしています。不登校対応や少人数学級を拡充するために市独自で教員を増やそうと提案しました。

## ☆ワクチン後遺症だけでなく、コロナ後遺症や他の疾病での後遺症にも公平な支援をすべき

市はコロナワクチン後遺症に苦しむ市民に対して、国の支援策につなげるための独自の支援を行なっています。ワクチン接種後の後遺症だけでなく、コロナ感染後や他の感染症、他の疾病でも困っている人はおり、社会生活を送る上で困難を抱えるみなさんを支える支援策を同様に実施すべきだと求めました。